

卒業生は今…

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は871名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.23 Iくん（平成27年3月卒・現19歳） 大中型まき網漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 網船（あみぶね）に乗っており、網をたぐり船上に整理する仕事をしている。
- * 2時間交代で行う見張り（ワッチ）もしている。
- * サバ類を漁獲する時は、19時頃にベルが鳴り操業が始まる。約2時間で1巻きが終わり、多いときで朝までに4回操業する。
- * カツオを漁獲する時は、4時30分頃に操業が始まる。魚の量にもよるが、1～2時間で1巻きする。

Q. 大変なことは？

- * 船員が方言のため意味が分かりにくい。
- * 仕事量が多い。
- * 知り合いの人がいないと少し寂しくなる。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 仕事後の休みが楽しい。
- * 故郷に帰ったときの嬉しさは半端ない。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 実習船「やいづ」でのカツオ漁。
- * 学園同期の生徒と休日に遊んだこと。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * 網実習が役立っている。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 一生懸命になること。
- * 船酔いは、動けば軽くなる。

（平成27年5月20日）